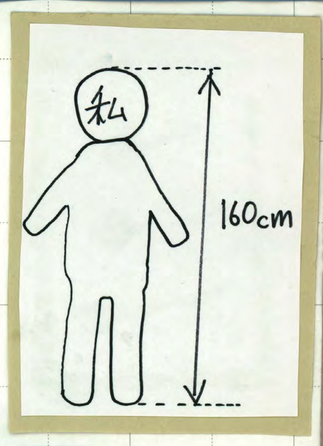
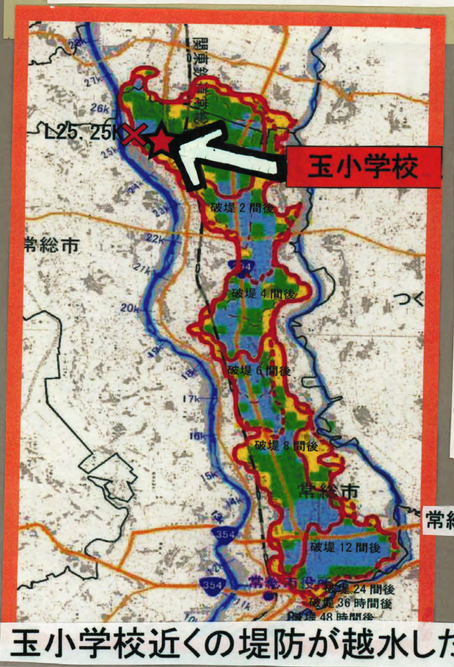
関東・東北豪雨の足跡

茨城県立古河中等教育学校
一年次　倉田　藍

はじめに

平成27年9月10日に起きた関東・東北豪雨により、私の住む茨城県常総市(前・結城郡玉村)は水害に見舞われました。この水害を通し、前・結城郡玉村の被害を調べ地図にまとめました。





玉小学校近くの堤防が越水した場合

凡例(はんれい)

- ×：越水箇所
- ★：学校

浸水深(しんすいしん)

- ：5.0m以上(いじょう)
- ：2.0 ～ 5.0m未満(みまん)
- ：1.0 ～ 2.0m未満(みまん)
- ：0.5 ～ 1.0m未満(みまん)
- ：0.5m未満(みまん)

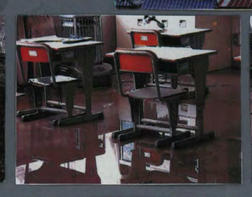
常総市内が越水した場合の目安の浸水深

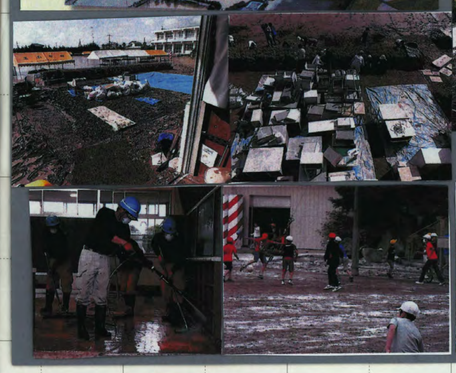
関東・東北豪雨の被害状況写真

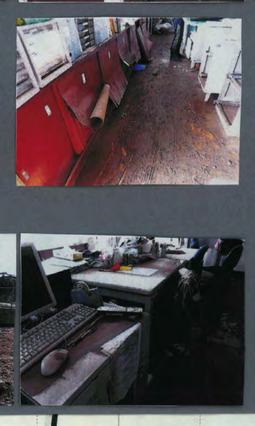
活動を終えた自衛隊が撤収（9月20日）

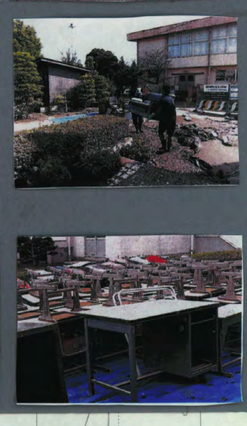
岡田小学校に避難した市民（9月10日午前10時頃）

越水箇所





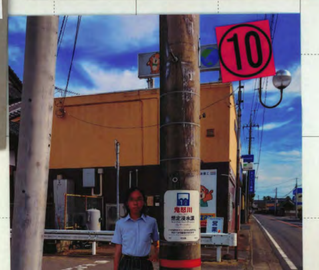




近くにお寺があります。

地区の公民館です。越水箇所より、少しだけ上流な場所です。

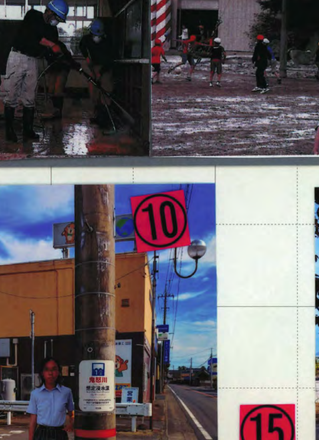
この辺りの1階は全て水になりました。


私の後ろにある電機屋さんのショーウインドウは、越水から逃げる車で波が起こり割れました。反対側のへいは内側にへこみました。

ここは、この地区の公民館です。おじぞうさんは土台が高く作ってあり、50年前の水害にも耐えることができました。

この先は水田地帯が広がっていて道と用水が分かりにくくなってしまったため、歩くときはとても危険でした。

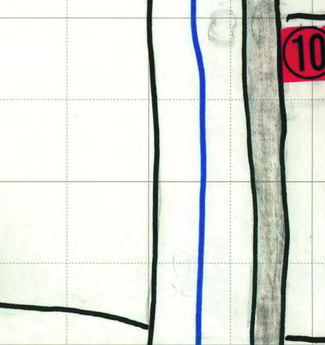
逃げられないため自衛隊のヘリコプターで助けてもらう人もいました。

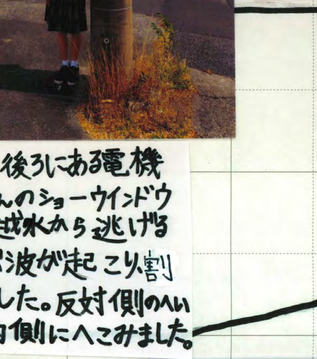

小学校の近くで、特に深い場所です。建物の断熱材などが水を吸ってしまい、家には、すめない状態でした。

ここの近くには、昔からのみそ屋さんがあります。泥をかき出すのも大変でした。

夕方　対岸　の鯨地区から見た風景は海の様でした。

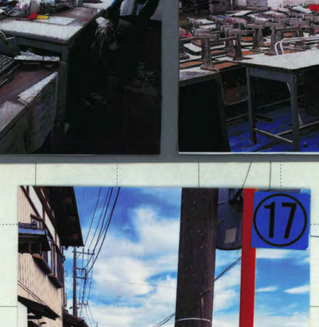
小学校の近くです。避難誘導した消防団の車も水の急激な増加で動かなくなりました。


両側にへいがあり、大きな波で、高い屋根があるへいなども飯み込まれました。

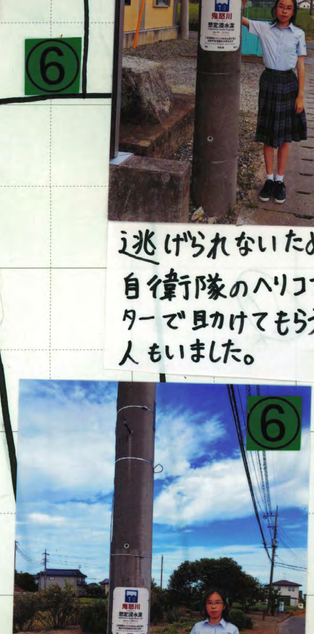

玉村の南部までは床上しんすいで、今では新しい家になっています。

小学校の近くで、特に深い場所です。建物の断熱材などが水を吸ってしまい、家には、すめない状態でした。

ここの近くには、昔からのみそ屋さんがあります。泥をかき出すのも大変でした。


夕方　対岸　の鯨地区から見た風景は海の様でした。

地元の千石きゅうりを作っていた農家さんも土質が変わったため、農業を辞めてしまっている人がいました。水害のあとにはすぐに自宅に帰ることが出来なく他の市に避難した人もいました。


給食を作る施設などがあり、朝給食のご飯を作っているなかで、水が床上まで来ました。

地元の野菜を作っているハウスや、牛を育てている酪農家で、それを辞めてしまっている家もありました。

大きなガソリンスタンドがあり、スタンドから油が東側に流れ出しました。

まとめ

平成27年9月10日、関東・東北豪雨が起きて、当時、幼稚園生の私は、市内の別の幼稚園に行くことになりました。そんな毎日を必死に過ごしていました。

そこを皆で乗り越える為に、地元のボランティアの方々、他県からの方々など沢山の人の協力で、幼稚園、学校、道路などが使えるようになりました。

この地図を制作して私は、人との繋がりの大切さを学びました。今回の地図の写真に写っている電柱の赤い線と標識は市役所の方々が制作して下さった物です。

参考資料
常総市広報誌平成27年11月号
No.118「関東・東北豪雨の足跡」